

最新ニュースをお届けします！



No.222

＼ハッピーハローウィーン／ おもちゃかぼちゃに顔を描こう♪

今年もハローウィーンがやって来ます！！毎年大人気のおもちゃかぼちゃのイベントを開催します★かわいい顔や怒った顔、悲しい顔や笑った顔…など自由に描いておうちに飾ってくださいね！！季節限定のイベントになりますので、お友だちを誘ってご参加ください♪色んな大きさや形、色のかぼちゃをたくさんご用意してお待ちしております！！

- | | | | |
|-----|---|-----|----------------------------|
| ●日時 | 9月1日(火)～10月31日(土) | ●時間 | 10:00～16:00 ※雨天中止 |
| ●受付 | なかよし動物園
好きなおもちゃかぼちゃをご購入ください。黒・白のペンのご用意あります。見本も多数ご用意致しますので、参考してみてくださいね。 | ●料金 | 200円 (おもちゃかぼちゃ代) |
| | | ●対象 | 来園者全員
お子さまと一緒に大人の方もどうぞ。 |

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706 指定管理者 株式会社たかはしダリア

最新情報を
簡単アクセス

公式HP



LINE



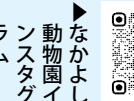
フェイスブック



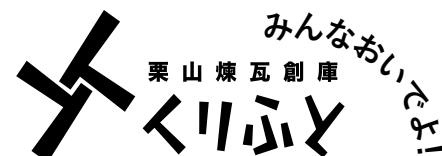
キャンパス & BBQ 受付



動物園インスタグラム



@KURIYAMAPARK



No.11 勉強も、遊びも、挑戦も。くりふとで見つかる、自分らしい時間



お友達と勉強もごはんも楽しむ様子 学生の挑戦「つむぎコーヒー」



くりふとは児童・生徒・学生のみなさんにとって、放課後や休日を過ごす場所の一つとして親しまれています。

館内では勉強に励む方、友人とおしゃべりやゲーム、シール交換、編み物を楽しむ人、それぞれが思い思いの時間を過ごしています。

くりふとの魅力は館内だけにとどまりません。施設裏の駅南公園には、スケートボードパークやバスケットゴールがあり、屋内外を自由に行き来しながら思い切り体を動かすこともできます。

そして、皆さんに知っていただきたいことは、学生の挑戦の場としても機能していることです。今年度限定でカフェ巡りが好きな町内大学生の岡村春翔さんによる「つむぎコーヒー」が来店しています。新しいことに挑戦したい学生たちの想いが形になっている環境でもあります。

勉強や交流、趣味、挑戦など、さまざまな目的で利用されている「くりふと」。まだ利用されたことの無い学生の皆さんも、自分らしい過ごし方を見つけに訪れてみませんか？

【開館時間】9:00～22:00(月曜休館、変動あり)

【所在地】中央3丁目154-1(栗山駅南側)

【問い合わせ】栗山煉瓦創庫くりふと ☎ 76-9945



Web



Facebook



Instagram

No.50 碑に込めた四文字のメッセージ

北海道帝国大学(北大)の初代総長となった佐藤昌介は、栗山との縁も深く、札幌農学校当時の附属農場の設置などにも貢献しました。町内には今も「開村記念碑」や「福井正之顕徳碑」、「成塾記念碑」など、佐藤昌介が撰文、揮毫した石碑が残されています。道内にあった北大の農場は、戦前まで第一(札幌)から第八(富良野)まで八つの農場があり、農場のあった地域には「学田」の地名が残されました。小作農場だった第三(第八までの六農場には、成塾(開塾の終)と)とともに、それぞれ記念碑が建てられています。



南学田成塾記念碑に刻まれた「後昆頼慶」の文字

れました。その第五農場の碑(昨和解体されました)の題額には「精農成業」(精魂込めて農業に打ち込み、確固たる成業に)と、第六農場の碑には「後昆頼慶」(後世の人々が、先人の功績による幸福が得られています。貴重な産業遺産でもある碑には、佐藤昌介のメッセージ込められています。この碑と題額の「言葉の意味」を、後世まで伝えて欲しいものです。



YouTubeで
歴史コンテンツ
公開中！



町史資料調査室
☎ 76-7820



森林空間活用チャレンジ隊員

安藤あかり 隊員

栗山町農林課 森林空間活用チャレンジ隊員の安藤です！

栗山町にお世話になり、早いもので2年が過ぎました。当初は「森でイベントを開催する」活動を漠然とイメージしていましたが、現在はチェーンソーを相棒に、小規模な整備を行う「小さな林業」を実践しています。自らの手で森を整える技術も、少しずつ身につけてきました。

本格的に木を伐り始めてから、森の見え方が劇的に変わりました。枝の付き方や木を倒した時の香り、足元の草花など、樹種や場所による違いが鮮明に感じられるようになったのです。「森林空間活用の協力隊」として、まさか自分がチェーンソーを握るとは思いもしません

でしたが、山で汗を流して働く心地よさは嬉しい誤算でした。

最近では、夏に海へ遊びに行くような感覚で、多くの人が「週末だけ山で作業してみる」体験を安全に楽しめる場所を作れないかと考えています。現在は日出地区の空き家を拠点に、森の素材を取り入れた空間作りも進行中です。

周囲の方々に助けられてばかりの毎日ですが、いただいたご恩を活動で返せるよう、一歩ずつ進んでいきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



森林活動発信アカウントはこちら↑